

仙老連／高齢者相互支援活動・モデル地区（2年間）の活動

《仙台市内5区からそれぞれ、一つの地区がモデル地区として指定を受けての活動》

全国三大運動《健康・友愛・奉仕》の中心ともいうべく「**相互支援活動**」です。

H28年度とH29年度の2年間は南材地区老連がモデル地区の指定を受け、仙台市の助成金を運用して活動しています。この活動は、モデル地区のみに限らず、老人クラブの日常の活動です。

仙台市の5区にそれぞれモデル地区を設け、2年間にわたり友愛チームを編成し、一人暮らしの高齢者や寝たきり、虚弱高齢者で孤立している世帯を訪問し、話し相手や簡易な生活援助をするなど、活発な活動をおこなっています。

（沖野地区と六郷地区が指定を受けて活動した後、H28年度とH29年度の2年間は南材地区が指定を受けて活動しています。）

シルバーセンター
ホール
研修会
参加者
の



写真右から3人目
H29年2月、南材地区の中間発表
を行った南材地区藤澤日出夫氏

